



ミライエ

観音寺の輝く未来へ市議会の動きをわかりやすくお伝えします

12月定例会のあらまし 2
(正副議長のあいさつ)

一般質問 6

審議結果 10



表紙写真の紹介

「光りか」

香川県立観音寺総合高等学校 写真部 3年 亀山 美空

わたしは、暖かい光のような作品を作りたくて、夕日が透けた教室のカーテンの前で、普段から明るくて笑顔がすてきな私の友人を撮りました。この作品を見ていただいた人の気持ちが少しでもホッと安らいでくれるとうれしいです。

コロナ禍のため、高校生活もこれまでと比べると何だか短く、味気なくなってしまうように感じていたのですが、こんな時だからこそ、思い出の一瞬一瞬を大切にカメラに収め、これからも私の大好きな時間や大切な人をたくさん写真に残していきたいです。



人口 59,248人

(2021.1.1現在 内外国人1,023人)
(対10月比94人減)



副議長
豊浦 孝幸



議長
大賀 正三

大賀正三議長は留任 副議長に豊浦孝幸氏を選出

市民の皆さまには、日ごろから市議会に対しまして、格別のご支援とご厚情を賜り、お礼申し上げます。このたびの12月定例会におきまして、議長は引き続き、副議長は議員各位の推挙により、大役を仰せつかりました。大変光栄であり、重責に身の引き締まる思いでございます。令和2年1月に初めて新型コロナウイルス感染症が確認され、早1年が経過しました。国は、これまでにさまざまな施策を打ち出し、本市も同様に取り組んでいるところであります。しかしながら、多くの業種にまたがり、まだまだ多くの課題がございます。

市当局と共に、市民の皆さまの声を聞きながら、二元代表制の一翼としての議会の役割を果たし、コロナ禍ではありますが、誰もが安心して、生き生きと暮らせるようなアフターコロナに向けたまちづくりに積極的に取り組んでまいります。

今後とも、市議会の活動にご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。留任および就任のあいさつとさせていただきます。

観音寺市議会委員会名簿

令和 2.12.3

令和 2.12.3

常任委員会

総務	委員長	安藤 康次
	副委員長	篠原 和代
	委員	大賀 正三
	//	篠原 重寿
	//	井上 浩司
	//	大平 直昭
	//	詫間 茂
建設経済	委員長	大矢 一夫
	副委員長	合田 隆胤
	委員	大久保隆敏
	//	井下 尊義
	//	藤田 均
	//	豊浦 孝幸
	//	白川 雅仁

文教民生	委員長	石山 秀和
	副委員長	立石 隆男
	委員	秋山 忠敏
	//	伊丹 準二
	//	友枝 俊陽
	//	五味 伸亮
広聴広報	委員長	友枝 俊陽
	副委員長	合田 隆胤
	委員	篠原 重寿
	//	井上 浩司
	//	立石 隆男
	//	白川 雅仁

議会運営委員会

委員長	立石 隆男
副委員長	友枝 俊陽
委員	石山 秀和
//	大矢 一夫
//	安藤 康次
//	五味 伸亮
//	藤田 均



12月定例会の主な議案

Pick up!

—議案第 109 号～ 111 号、第 120 号—
各委員会委員・監査委員の任命・選任に同意

- 教育委員会委員 豊嶋 起公子 氏
- 公平委員会委員 高原 美都子 氏
- 固定資産評価審査委員会委員
藤井 守 氏
島田 美和子 氏
岩倉 由幸 氏
横井 大典 氏
- 監査委員（議員選任） 井下 尊義 氏

定例会が12月3日から22日までの20日間の会期で開かれた。提出された議案のうち、人事案件4件を初日に同意した。一般質問は10日に7人、11日に4人が市政についてたどした。各常任委員会では、付託された19議案について審査した。最終日には、各常任委員会付託議案を原案のとおり可決した。また、追加議案1件が提出され、原案のとおり可決した。陳情1件は、全会一致で採択とした。

Pick up!

—議案第 108 号—

すぽっしゅ豊浜（豊浜総合体育館）の冷暖房利用料金を制定

メインアリーナの冷暖房設備の整備に伴い、利用料金を下記表のとおり定めるもの。
(令和3年4月1日施行)

	施設名	利用料金（1時間あたり）
冷暖房設備	メインアリーナ	15,000円以内
	サブアリーナ	2,000円以内

なお、利用料金は市立総合体育館および大野原会館の現行の利用額から勘案。また、令和3年度からの利用料金は、豊浜総合体育館条例に基づき、上記表に掲げる範囲内で指定管理者が定める。

Pick up!

—議案第113号—

令和2年度観音寺市一般会計補正予算（第9号）

主な歳出

オリーブ牛肉を学校給食で提供 777万円（県補助 10/10）

- 県の和牛肉等販売促進緊急対策事業を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響で、需要が減少しているオリーブ牛肉を学校給食で提供するもの。

観音寺市宿泊等促進事業期間延長などに伴う増額 3,872万円

- 観光関係事業者への間接的な支援策として実施している「来てみてGoかんおんじ。～かんおんじ宿泊等促進キャンペーン～」の実施期間が令和3年3月31日（水）までに延長されたことにより増額するもの。

■ 11月末までの助成実績

■ 宿泊費助成の実利用人数：6,613人
（うち飲食費助成の実利用人数：3,907人）
助成額：2,114万円

■ 雲辺寺ロープウェイの実利用人数：6,624人
助成額：716万円



市道見卓三本松線実施設計および工事費 2,755万円

- 競輪場解体に伴い、企業誘致の促進を図るため、市道見卓三本松線の早期完成が必要になり、年度内に工事を発注しようとするもの。

新型コロナウイルス対策で器具を購入 103万円

- 新型コロナ対策応援寄付金を活用し、保育所の児童が給食時に使用する机や送迎時などの検温・消毒をスムーズに行うために器具を購入するもの。

豊田小学校のトイレの洋式化改修工事を前倒して実施 2,849万円

- 令和2年度の国の補助金交付決定があったことから、令和3年度に改修工事を予定していた豊田小学校の校舎トイレの洋式化を前倒して実施するもの。

3 tクラスのごみ収集車2台を令和3年度に購入 2,121万円

- 市が所有する12台のうち11台が10年以上経過し、うち3台の廃車が決定したため、早期購入のため債務負担行為を追加するもの。

主な減額

新型コロナウイルス感染症の影響による事業縮小などによる減額

- 民生委員活動事業 △165万円
- ふるさと緑化推進事業 △60万円
- 子どもの夢事業 △155万円
- 中学生海外派遣事業 △302万円

Pick up!

－議案第121号－

令和2年度観音寺市一般会計補正予算（第10号）

ひとり親世帯臨時特別給付金「基本給付」を再支給 2,106万円

<概要>

- 支給対象者 ひとり親世帯臨時特別給付金の支給を受けている人など
- 支給額 1世帯当たり5万円 第2子以降1人につき3万円
- 支給手続き 前回の基本給付を受けた人は、申請不要

<注意>

- 前回受給の際に指定した口座を解約している場合は、口座変更の申し出が必要です。
- “振り込め詐欺”や“個人情報の詐取”にご注意ください。

第7回11月臨時会の概要

令和2年第7回臨時会は11月20日に招集され、即日採決となった。

主に人事院勧告に準じ、期末手当の支給月数を改める議案を含む6議案が提出され、すべて原案のとおり承認および可決した。



茂 託問
自民新政法

風致地区内にある、崩壊寸前の倉庫の撤去を

答 弁 県や弁護士などと協議し進めていく

【質問】 有明浜の風致地区内に所有者不明を含めた崩壊寸前の倉庫が8戸あり、大変危険な状況である。令和2年2月には、強風で屋根のトタンが飛ばされ、ビニールハウスを直撃するという事故があった。今の状況では、いつ人災につながっても不思議ではないと思っている。市として危険倉庫の撤去に向け、どのような方策を取るのかを伺う。

【答弁】 景観を保全する風致地区内にあり、老朽化に伴う危険性もあることから、当時の経緯や倉庫の所有者などの確認を進めている。また、法的対応について弁護士に複数回相談をし、助言をいただいたところである。今後も現状改善に向け、本市が取り得る対応を協議、検討していく。

県が近い将来、防潮堤を整備する計画があるため、その時に一緒に撤去してもらう方策が一番良いのではないかと考えている。この点についても今後県と協議し、倉庫の撤去を進めていきたい。

しかし、倉庫だけでなく、倉庫内にボートや看板なども存在するため、所有権なども含め弁護士とも協議し、対応していきたい。



白川 雅仁
公明党

認定こども園で実施される「子育て支援事業」とは

答 弁 「親子の集いの広場」や「相談事業」を行う

【質問】 令和3年4月から観音寺こども園が開園する。ここで実施される「子育て支援事業」の詳細を伺う。

【答弁】 通園の有無にかかわらず、地域の子どもや保護者が交流を行うための「親子の集いの広場」の開設や、子どもの養育に関する各種相談に応じ、必要な情報の提供や助言をする「相談事業」を行う。担当職員には、教育・保育に関する資格を持つ職員や相談支援に適した専門の有資格者を配置することが望ましいため、現在検討している。

【質問】 子育てに関する種々の相談窓口は、5つの部署に分かれており、分かりづらい。相談に来られる人が安心して利用できるようにワンストップ窓口を開設することを提案するが、見解を伺う。

【答弁】 子育てや発達に関する相談事業を各部署が担当し、子育て支援センターや市役所などで実施している。保護者にとっては、さまざまな機会や身近な場所で相談できることもメリットであると考えている。事業ごとに多くの窓口があり、分かりづらくなっている点は、事業内容を分かりやすく取りまとめ、情報を発信していく。



大平 直昭
社志会

可燃ごみ削減の取り組みは

答 弁 可燃ごみの中の雑がみや紙パックなどを資源ごみとして回収するなど啓発活動を続ける

【質問】 本市の令和元年度のごみ処理経費は約3億2、800万円で、可燃ごみ処理費が大きな割合を占めている。経費の削減を進めるためには、可燃ごみの削減が最重要課題であると考えられる。可燃ごみの中に、有償で売却できる紙類などが混じっているのではないかとと思われる。それらの混入状況と、可燃ごみ削減に向けての取り組みを伺う。

【答弁】 ごみ処理費の中で可燃ごみ処理費が80%以上を占め、令和元年度は約2億8、423万円。可燃ごみの種類組成を分析したところ、紙（菓子箱、コピー用紙、封筒、包装紙など）、布類が約43%を占めており、リサイクル・リユースできる多くの資源ごみが可燃ごみの中に捨てられている。また、市民の協力によって、生ごみ中の水分は減少しているが、まだまだ多く含まれている。これら雑がみや紙パックなどを資源ごみとして回収するとともに、生ごみのさらなる水切りを徹底することで、ごみ処理経費の削減を図っていききたい。そのためにも「ごみ分別の手引き」を分かりやすい内容に更新するなど、啓発活動を続ける。





大久保隆敏
壮志会

農業に市独自の支援策を！

答 弁

生産基盤の強化に取り組み

【質問】本市の販売

農家数は約1、700戸と推測される。

11月30日現在「持続化支援給付金」14

8件で約9%、「経営継続補助金」23

5件で約14%、「高収益作物次期作支援

交付金」697件で

約41%である。農家は昨年

はコロナ禍で野菜価格は低迷し、悲鳴を上げている。農業離れを加速させないために市独自の支援策を。

【答弁】農業者には、国・県・市の各補助金制度を積極的に活用し、生産性の向上や販路の開拓、経営基盤の安定を図り、アフターコロナに向けた生産体制の強化につなげていただく。また、農業の持続的な発展を図るため、新規就農者などの担い手確保や育成、多面的機能支払い制度などを活用し、共同活動の推進、農地利用の最適化を進める。生産拡大者には、農業機械の導入や施設整備などの支援やほ場整備などを積極的に推進し、生産基盤強化に努める。



篠原重寿
無所属(社民)

新型コロナウイルス感染症から、市民を守る行政の役割は

答 弁

検査体制整備と、影響の大きい部門・教育現場への支援を実施

【質問】①PCR検査センター設置後の

状況。②個人向け支援のうち、医療従事者など、17・18歳への

支援金の給付状況。③教育現場の学習支援のための人的支援、

学校再開に伴う感染防止対策内容は。

【答弁】①三豊・観音寺市医師会などの協力によって、三豊市と共同で10月に開設。11月末現在の実施件数は15件(市内在住者6名)。②国の慰労金対象者へ、市の上乗せ給付総額は7、181万円、17・18歳の946名に一人当たり3万円、総額2、838万円を支給(11月末現在)。③学校休業に伴う夏季休業中の授業実施時に、学習指導員8名を配置。第2学期から、小学6年生、中学3年生へ11名の加配教員を追加配置。感染対策は、手指などの消毒液、非接触型体温計などを配備済み。第3学期から、換気対策として、サーキュレーターや網戸を各学校に整備する予定。



友枝俊陽
自民新政会

マイナンバーカードの普及とキャッシュレス化への取り組みは

答 弁

広報活動と日曜開庁を継続し普及促進を図り、市民サービス向上のためキャッシュレスへの取り組みを進める

【質問】①マイナンバーカードの普及率が全国平均2割程度である。総務省は、普及促進を強く促しているが本市の状況は。

②マイナンバーカードをキャッシュレス決済とひも付け、マイナポイントが付与されるようにキャッシュレス化の流れが加速している。コロナ禍によってキャッシュレスの流れはさらに加速している。そこで地域商品券などもキャッシュレスなどに対応した政策にするべきではないか。

【答弁】①本市の交付率は20.03%(11月15日現在)である。マイナポイント事業や令和3年3月から開始されるマイナンバーカードの健康保険証としての利用開始に向け普及促進に取り組んでいる。

②多くの自治体がキャッシュレスへの取り組みを進めており、県内他市でもポイント還元による経済活性化、各種手数料のスマートフォン決済導入などの取り組みがある。マイナンバーを活用した自治体ポイントの導入や地域通貨制度の創設などの例もある。本市でもキャッシュレスへの取り組みの調査、研究を進めていく。



石山 秀和
公明党

鳥インフルエンザの発生状況は

答 弁 本市でも発生地から半径10km以内の搬出制限区域に28農場が存在

〔質問〕 発生状況と対策を伺う。

〔答弁〕 12月2日現在、三豊市で9例、東かがわ市で1例が発生し、約17.1万羽を殺処分。発生防止策として、消毒用消石灰の配布や道路やため池の消毒作業を実施。農家支援は、「殺処分手当金」や「家畜伝染病予防費負担金」などがあり、受給までのつなぎ資金は無利子で融資を受けられる。

行政手続きの押印見直しは

答 弁 市単独で見直し可能な全ての申請書で検討

〔質問〕 どのような文書が見直されるのか。
〔答弁〕 婚姻届など国や県の法令で義務付けられている書類を除く全ての申請書で検討する。

コミュニケーション支援ボードとスマートフォンによるNET119緊急支援通報システムの導入を提案する

答 弁 支援ボードは設置を検討し、緊急通報システムは導入次第周知する

〔質問〕 障害のある人々のために、情報バリアフリーの観点から提案するが見解を伺う。

〔答弁〕 支援ボードは、意思疎通の円滑化に効果が期待できるため、本庁や支所などの窓口への設置を検討する。緊急通報システムは、三豊広域消防が導入次第周知に協力する。



伊丹 準二
自民新国会

ちようさ文化を示す施設の一本化を

答 弁 ちようさ会館の利活用に努める

〔質問〕 合併後15年を経て、「ちようさ」は、現在3カ所に1台ずつ展示されている。ちようさ会館などに集約出来ないか。

〔答弁〕 「ちようさ」の展示場所は、それぞれの地域特性を活かし、独自性を確立することで存続している。「ちようさ会館」は、伝統文化の発信拠点、観光振興の施設として利活用に努めていく。管理運営手法は、ちようさ会館運営協議会に諮ること、活性化を図っていく。

自主防災拠点として、自治会館の強靭化を

答 弁 補助金の見直しを検討する

〔質問〕 南海トラフ地震の発生率が今後20年以内に70〜80%とされている。災害のたびに、自助・共助・公助が謳われるが、公助には限界がある。自助・共助の拠点として自治会館を強靭化し、地域で自助・共助を促すべきだと考える。そのために、自治会館整備の補助金を増額すべきでは。

〔答弁〕 建物の新築や増改築工事には、補助率25%で上限500万円とし補助金を交付している。宝くじのコミュニケーションセンター助成金は、県へ割り当てられる件数が少なく、採択されないことがある。自治会集会場に対する補助金の見直しは今後県内市町の状況を把握し検討する。



藤田 均
無所属(共産)

学校給食の現4施設を比較すると自校方式が安いのでは

答 弁 センター方式の方が、極めてコストが低い

〔質問〕 「人口減なのに、なぜ5,000食の給食施設が必要なのか!」との声がある。給食施設を全市で1つに統合すると「巨大工場の建設」や「トラック配達の網の全市化」、「運搬中の衛生・保温管理」など多額の経費が必要。現4施設の1食当たりのコストは、

〔答弁〕 食料費を除く人件費を含めた諸経費を年間総給食数で割ったコストは、センター方式の観音寺学校給食センターが一番低い。

コロナ禍での小・中学校の少人数学級の具体化を

答 弁 国や県の動向を注視し、対応する

〔質問〕 コロナ禍で少人数学級を求める声広がっている。全国知事会や市長会も連名で提言を国に提出している中、20人学級を見据えた、少人数学級の前進が必要では。

〔答弁〕 文部科学省は、少人数学級実現に向け、財務省調整をする予定。現状、市内小・中学校の通常学級150学級中147学級で35人以下である。





五味 伸亮
壮志会

キャッシュレス還元 事業の広域連携を提案

答 弁
調査、研究を進める

〔質問〕 新型コロナウイルス対応は、周辺市と足並みをそろえることが重要で、消費の落ち込みを下支えする消費喚起策の実施は共通課題である。各市の単独事業よりも発信力が大きくなることで、キャッシュレス還元事業の広域連携は十分に可能であると考えます。

例えば、行楽シーズンに連携することで、四国の真ん中への周遊型観光を促し、また、瀬戸内国際芸術祭や秋祭り時期に併せて実施することによって、文化や芸術の発信にもつながる。そして、何より周辺市と強力に進めていかなければならない共通課題の人口減少対策にもつながると考える。

交通の要衝、災害の少ない温暖な気候、豊かな文化、自然、産業、観光。それらが集う「四国のご真ん中で暮らしませんか」と打ち出す大きな転機でもある。さらに連携を深め、本市と三豊市、四国中央市、三好市の生活圏の魅力を高めていただきたいが見解を伺う。

〔答弁〕 消費喚起について複数の自治体が連携することで、情報発信力の強化や地域を周遊するきっかけを作るなど効果が考えられる。本市では、県をまたいだ連携について模索する必要があるため、調査、研究を進める。



合田 隆胤
自民新政治家

大野原いきいきセン ターの管理状況は

答 弁
利用者のニーズに合った
健康器具を導入する

〔質問〕 平成30年9月の一般質問の際に、「市民の健康維持のために、器具の適正な管理や古くなった器具の更新も計画的に対応する。」などと答弁いただいたが、その後の状況を伺う。また、新型コロナウイルスやインフルエンザなどの対策を伺う。



〔答弁〕 令和2年度は、健康維持に有効なもので利用者のニーズに合った健康器具を導入する。今後も利用者のニーズに応えながら、市民の健康維持のために、古くなった器具を中心に計画的に更新していく。また、市の広報かんおんじの保健力レンダーやホームページに引き続き掲載し、利用促進を図る。

新型コロナウイルス感染症防止対策のお願いとして、利用者には、3密を避けるため健康器具の間隔をあけるとともに、利用者が密接にならないように、使用する健康器具の順番を考慮するなどの対策を講じている。

掲載できなかった一般質問

氏 名	質 問 件 名
諫問 茂	<ul style="list-style-type: none"> ●人口増加につながる香川・観音寺への移住相談について ●慢性炎症について ●かんおんじ宿泊等促進キャンペーンについて ●ため池の安心・安全について
白川 雅仁	<ul style="list-style-type: none"> ●行政手続のデジタル化について
大平 直昭	<ul style="list-style-type: none"> ●認定こども園について
篠原 重寿	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者への交通施策について ●二級河川の災害対策について
友枝 俊陽	<ul style="list-style-type: none"> ●企業誘致に係る道路網の整備について
石山 秀和	<ul style="list-style-type: none"> ●冬場の新型コロナウイルスの検査体制強化について

氏 名	質 問 件 名
藤田 均	<ul style="list-style-type: none"> ●国保の傷病手当金について ●コロナ対策での保育所、学童保育などへの財政支援について ●ひとり親家庭への、障害年金と児童扶養手当の併給について
五味 伸亮	<ul style="list-style-type: none"> ●消防団活動について ●各種ワクチンの供給状況について ●市内消費喚起策について
合田 隆胤	<ul style="list-style-type: none"> ●成人式について ●来年度予算編成について ●人材育成について

総務委員会視察報告

日程 10月16日

市生活環境課

■ 観音寺地域におけるごみ収集・運搬の民間委託などについて

令和2年4月より観音寺地域の可燃ごみなどの民間委託開始に伴い、実状調査のため、市生活環境課などと意見交換を行った。(大野原、豊浜地域の収集は既に民間委託済み)



■ 市が直営で収集・運搬を行っていた時は、ごみ収集車4台で4ルート、1台当たり3名乗車の12名体制で運用していた。令和2年4月以降(民間委託後)は、ごみ収集車3台で3ルート、1台当たり2名乗車の6名体制で運用している。
⇒ 人件費の削減や本市所有のごみ収集車を無償貸与することで委託費を抑制している。

■ 委託開始当初の4月ごろと比較すると、各曜日で収集時間が短縮できている。
⇒ 収集が遅くなる地区が固定されないような運行を指示。

■ 本市が所有するごみ収集車12台のうち、委託業者に貸与している車両3台を含む11台が10年以上経過している。そのため故障などの影響で収集時間遅延の原因になっている。また、災害発生時の災害廃棄物の収集・運搬には、ごみ収集車が必要不可欠になるため、早急な更新が大きな課題である。

■ 委託業者からは、市に対する要望として「ごみ収集車の更新」や「交差点付近に設置されている集積所の移動」などがあり、また市民に対するお願いとして「鳥よけネットの確実な設置」や「水切りの徹底」「ライターなどを混入しない」などが挙げられた。

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う、傍聴に関するお願い

新型コロナウイルスの感染が全国的に広がっています。3密(密閉・密集・密接)を回避するため、引き続き傍聴をお控えくださいますようお願いいたします。

なお、傍聴を希望される場合は、次の点にご協力ください。

- マスクの着用をお願いいたします。
- 手洗い、手指の消毒をお願いいたします。(議場入口に消毒液を準備いたします。)
- 傍聴日当日に発熱がある場合や、倦怠感がある、咳が出るなどの体調不良の場合は、傍聴をお控えください。

なお、本会議の様子は市議会ホームページ内の「議会映像」からご覧いただけます。



議案の審議結果 令和2年第7回(11月)臨時会

● 全会一致の議案

議案番号等	議案名	議決結果
議案第92号	専決処分の承認について(和解及び損害賠償の額の決定)	承認
議案第93号	観音寺市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第94号	観音寺市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	//
議案第95号	観音寺市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部改正について	//
議案第97号	観音寺市一般職の任期付職員を採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	//

● 賛否の分かれた議案

※議長は可否同数の場合のみ裁決権があります。 ※○…賛成 ●…反対 欠…欠席 退…退席

議案名等	議員名														議決結果								
	藤田均	篠原重寿	白川雅仁	石山秀和	五味伸亮	大平直昭	大久保隆敏	井上浩司	豊浦孝幸	友枝俊陽	立石隆男	詫間茂	篠原和代	合田隆胤		大矢一夫	大賀正三	井下尊義	伊丹準二	安藤康次	秋山忠敏		
議案第96号	観音寺市職員の給与に関する条例の一部改正について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※会派別五十音順

※無所属(会派に所属していない議員)…社会民主党、日本共産党

議案の審議結果 令和2年第8回（12月）定例会

● 全会一致の議案

議案番号等	議 案 名	議決結果
議案第100号	観音寺市地域経済牽引事業の促進に係る固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第101号	観音寺市国民健康保険税条例の一部改正について	//
議案第102号	観音寺市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	//
議案第103号	観音寺市介護保険条例の一部改正について	//
議案第104号	観音寺市工場等立地促進条例の一部改正について	//
議案第105号	観音寺市下水道条例の一部改正について	//
議案第106号	観音寺市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について	//
議案第107号	観音寺市災害に強い地域づくり条例の一部改正について	//
議案第108号	観音寺市豊浜総合体育館条例の一部改正について	//
議案第109号	教育委員会委員の任命について	同 意
議案第110号	公平委員会委員の選任について	//
議案第111号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	//
議案第112号	新市建設計画の変更について	原案可決
議案第113号	令和2年度観音寺市一般会計補正予算（第9号）	//
議案第114号	令和2年度観音寺市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	//
議案第115号	令和2年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	//
議案第116号	令和2年度観音寺市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	//
議案第117号	令和2年度観音寺市介護予防サービス事業特別会計補正予算（第1号）	//
議案第118号	令和2年度観音寺市航路事業特別会計補正予算（第1号）	//
議案第119号	令和2年度観音寺市下水道事業会計補正予算（第3号）	//
議案第120号	監査委員の選任について	同 意
陳情第1号	障がい児・障がい者福祉に関する陳情書	採 択
議案第121号	令和2年度観音寺市一般会計補正予算（第10号）	原案可決

● 賛否の分かれた議案

※議長は可否同数の場合のみ裁決権があります。 ※○…賛成 ●…反対 欠…欠席 退…退席

議 案 名 等	議 員 名														議決結果						
	藤田均	篠原重寿	白川雅仁	石山秀亮	五味伸昭	大平直昭	大久保隆敏	井上浩司	豊浦孝幸	友枝俊陽	立石隆男	詫間和茂	篠原和代	合田隆胤		大矢一夫	大賀正三	井下尊義	伊丹準二	安藤康次	秋山忠敏
	無共	無社	公明党		壮志会																
議案第98号	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	原案可決
議案第99号	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	//

※会派別五十音順

※無所属（会派に所属していない議員）…社会民主党、日本共産党



観音寺市議会議員会派等別人数

■ 公明党 (公明党)

石山 秀和
白川 雅仁

■ 壮志会 (自民・他)

井上 浩司 大久保隆敏
大平 直昭 五味伸亮

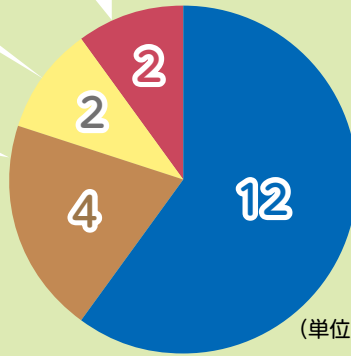
■ 会派に所属していない議員

篠原 重寿 (社会民主党)
藤田 均 (日本共産党)

■ 自民新政法会 (自由民主党)

秋山 敏次
安藤 康準
伊丹 下尊
井大 賀正
大合 矢一
篠原 隆和
藤立 石枝
友友 豊浦
敏次 義三
準正 夫胤
賀正 隆代
矢一 茂
大合 隆男
篠原 俊陽
藤立 石枝
友友 豊浦

会派とは、同じ考えかたや意見をもった議員が集まって結成されたグループです。議会内での活動をともにするため会派をつくり、議会活動をしています。



(単位:人)

五十音順

白川	石山	豊浦	友枝	立石	詫間	篠原和	合田	大矢	大賀	井下	伊丹	安藤	秋山	藤田	篠原重	五味	大平	大久保	井上
公明党		自民新政法会												無共	無社	壮志会			



秘書等が代理で出席する場合の結婚祝



地域の運動会・スポーツ大会への飲食物等の差入



お祭りへの寄付・差入



町内会の集会・旅行等の催物への寸志・飲食物の差入



みんなで徹底しよう
三ない運動

贈らない!
求めない!
受け取らない!

落成式・開店祝等の花輪



病気見舞



お歳暮・お年賀



入学祝・卒業祝



葬儀の花輪・供花



秘書等が代理で出席する場合の葬儀の香典



公職選挙法によって、政治家は選挙区内にある者に対して、答礼のための自筆によるものを除き、**年賀状**などのあいさつ状を出すことが禁止されています。



24日	17～18日	15～16日	11～12日	9～10日	2日
本会議	総務委員会	建設経済委員会	文教民生委員会	本会議(一般質問)	本会議

3月定例会の予定

広聴広報委員長 友枝俊陽

「福は内、鬼は外」の声を聞くと、暖かな春の訪れを待ち遠しく感じるこのごろ。12月議会から各常任委員会の委員構成も新しくなり、広聴広報委員会も新たな委員で運営してまいります。この議会だよりを通じて、市民の皆さまに少しでも議会に興味を持っていただけるような広報紙作りを目指してまいります。

12月議会では11人の議員が新型コロナウイルス関連をはじめ34項目について一般質問を行いました。これまでに多くの課題に加え、コロナ禍でさらに先行き不透明な不安を感じる市民の皆さまの代弁者として、わたしたちにできる事を常に考え、行動してまいりますので、今後とも、ご指導をお願い致します。

編集後記



古紙配給率70%再生紙を使用しています



この議会だよりは環境にやさしい植物油インキを使用しています。